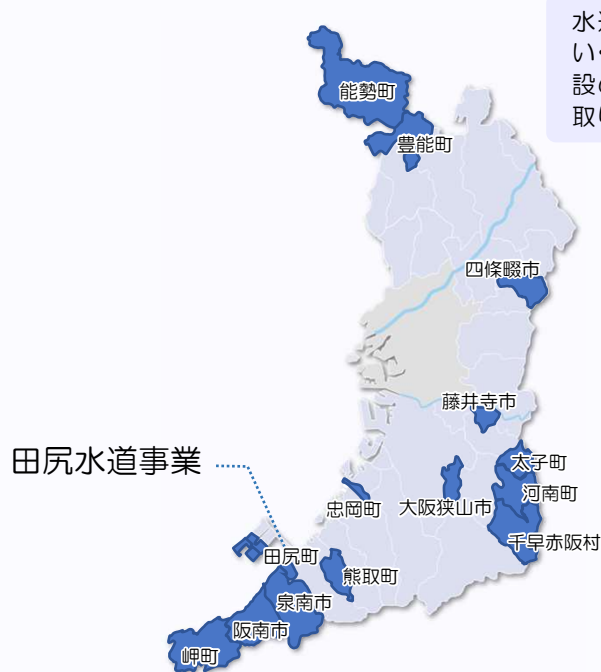


2024年度の主な取組

市町村域水道事業(13水道事業)



水道水の安定供給を持続していくため、老朽化が進む水道施設の計画的な更新・耐震化に取り組んでいます。

田尻水道事業

重要施設配水管路の目標設定について教えて！

2024年1月に発生した能登半島地震で上下水道施設に甚大な被害が生じ、復旧が長期化したことを踏まえ、国土交通省から全国の水道事業者や下水道管理者に対し、重要施設※に接続する上下水道管路等の耐震化を推進するための「上下水道耐震化計画」を2025年1月までに策定するよう要請がありました。

この計画策定に当たり、企業団と統合元団体に協議を行い、対象施設となる重要施設の見直し(地域防災計画とも整合)を行うなど、これらに接続する重要施設配水管路の耐震管率の目標値(2029年度)を設定しました(これにより一部の水道事業で従来の目標値から変更が生じています。)

本アニュアルレポートにおいては、「上下水道耐震化計画」の目標値に対し実績の推移を報告します。

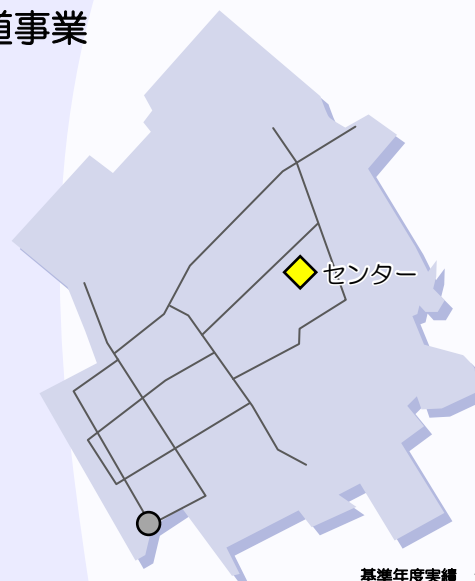
※ 災害時においても給水の重要性が高い医療機関、避難場所、福祉施設、防災拠点等の施設。なお、「上下水道耐震化計画」に合わせて「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しています。



田尻水道事業

【凡例】

- ◆ 水道センター
- 浄水施設
- 配水池
- ▲ ポンプ場
- 主要な既設管路
- 2024年度整備箇所



◇中央配水場更新工事

泉南水道センター中央配水場
(正確な位置を表していません。)

	基準年度実績 (2021年度)	2023年度 実績	2024年度 実績	目 標 (2029年度)
管 路 の 耐 震 管 率				
基幹管路	8%	8%	8%	8%
重要施設 配水管路※ (耐震適合率)	—	25% (64%)	25% (64%)	44% (84%)

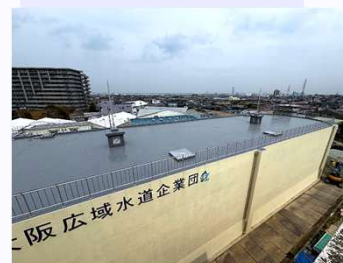
※ 「上下水道耐震化計画」の策定に伴い、「重要給水施設管路」を「重要施設配水管路」に変更しました。

2024年度の執行額は2.5億円で、主な事業は次のとおりです。

施設の最適配置

■ 中央配水場更新工事(負担金)

2水道事業(泉南、田尻)の共同配水池整備を2021年度から2026年度にかけて実施しています。



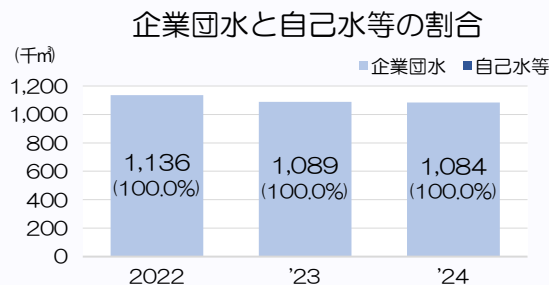
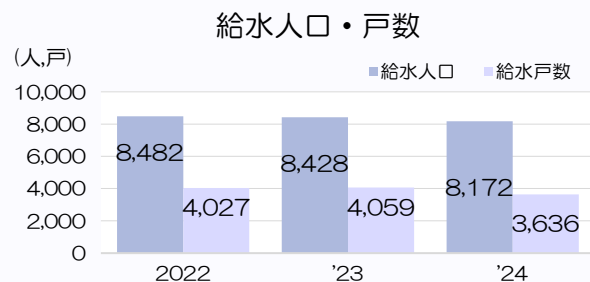
2024年度
執行額 184百万円

その他の取組

- 中央配水場更新工事に併せて、4水道事業(泉南、阪南、田尻、岬)の集中監視制御設備を共同で整備しています。
- 漏水箇所の早期発見により安全で安定した水運用を行うため、漏水調査業務を実施しました。

■ 田尻水道事業

給水人口や給水量の推移



2024年度末の給水人口は8,172人で、前年度と比べて256人(3.0%)減少しています。

また、給水戸数は3,636戸で423戸(10.4%)減少しています。

給水量は1,084千m³で、前年度と比べて5千m³(0.5%)減少しています。なお、給水量のうち企業団水の占める割合は100%です。

財政収支

(単位：百万円、税込)

収益的収支	2023決算(a)	'24決算(b)	差引(b)-(a)
収 益	241	245	4
給水収益	185	192	7
長期前受金戻入	46	46	△ 0
その他収入	11	7	△ 3
特別利益	—	0	0
費 用	212	224	12
維持管理費	153	165	12
減価償却費等	57	57	△ 0
支払利息	2	2	0
特別損失	—	—	—
単年度損益	29	22	△ 8

(単位：百万円、税込)

資本的収支	2023決算(a)	'24決算(b)	差引(b)-(a)
収 入	134	197	63
企業債	25	120	95
国庫補助金等	109	77	△ 32
その他収入	—	—	—
支 出	392	267	△ 124
建設改良費	383	259	△ 124
企業債償還金	8	8	△ 0
その他支出	—	—	—
収支の差額	△ 258	△ 70	187

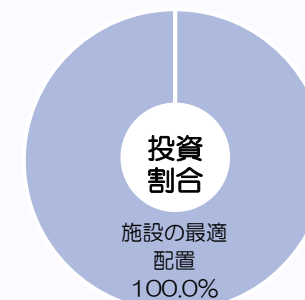
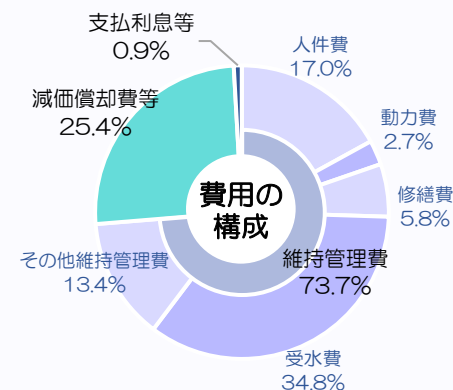
* 収支の差額については、積立金等で補てん



収益は、ホテルの水需要増加により給水収益が増加したことなどにより、前年度と比べると4百万円増加しました。

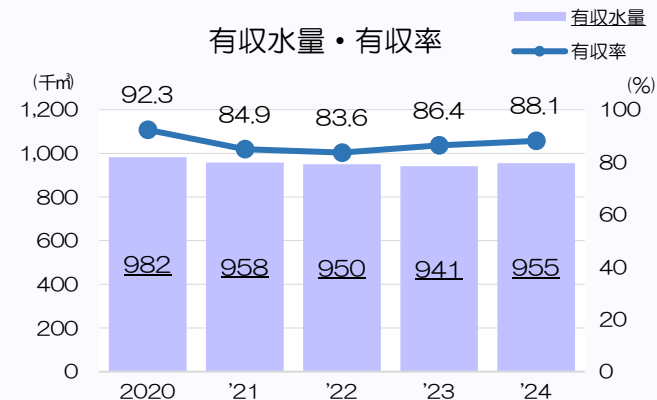
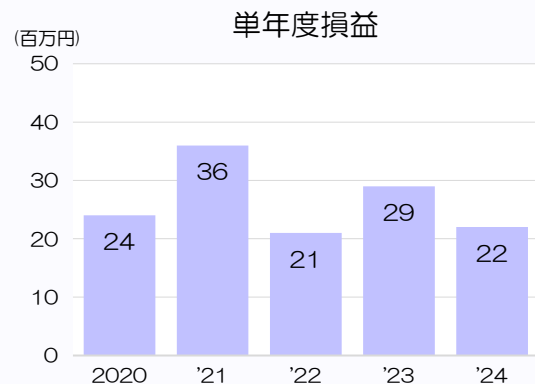
費用は、修繕費や統合水道料金システム導入に伴うデータ移行費用等の増加により維持管理費が増加したため、前年度と比べると12百万円増加しました。

これらの結果、単年度利益は前年度に比べ8百万円減少し、22百万円となりました。



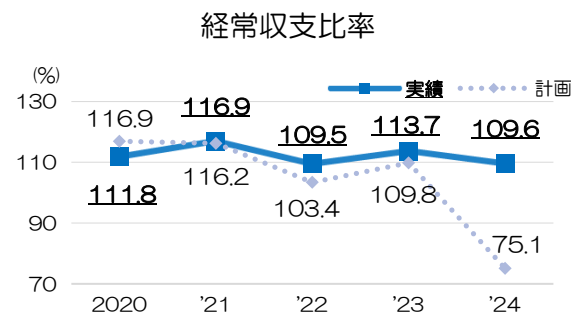
※ 投資割合は建設改良費の内訳のことです。

財政収支の推移



主な経営指標の状況

○：計画を達成 △：計画を概ね達成(計画値との乖離が5%未満) ×：計画を未達成



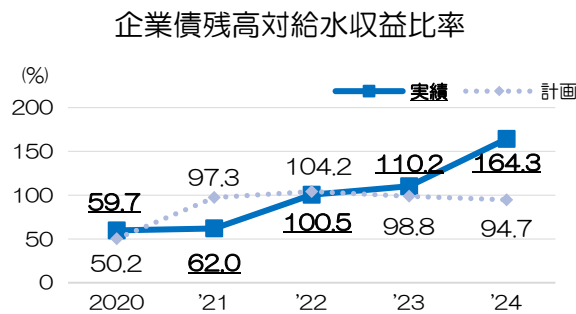
達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	△	○	○	○	○

＜算出式＞ 経常収益／経常費用×100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

2024年度の実績は、計画を達成しました。計画上予定していた施設の除却時期の見直しに伴い、減価償却費等が減少したことにより、計画と実績との乖離が大きくなっています。なお、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、4.1ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値106.5%】



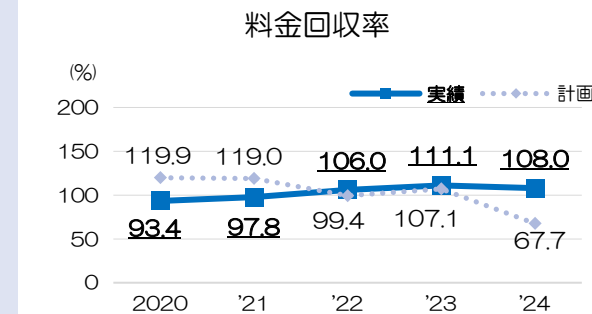
達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	×	○	○	×	×

＜算出式＞ 企業債現在高合計／給水収益×100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

計画と比べ、企業債残高が増加したことから、2024年度の実績は、計画を達成できませんでした。前年度と比べても、企業債残高が増加したことから、54.1ポイント増加しています。

【参考:2023年度類似団体平均値515.1%】



達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	×	×	○	○	○

＜算出式＞ 供給単価／給水原価×100

(供給単価＝給水収益／有収水量)

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

2024年度の実績は、計画を達成しました。計画上予定していた施設の除却時期の見直しに伴い、減価償却費等が減少したことにより、計画と実績との乖離が大きくなっています。なお、前年度と比べ、維持管理費が増加したことから、3.1ポイント減少しています。

【参考:2023年度類似団体平均値84.2%】